

保健師だより

健診を受けて生活習慣病予防！

6月から特定健診、若年者健診、がん検診が始まります。そこで、今回は昨年度の健診結果をお伝えします。

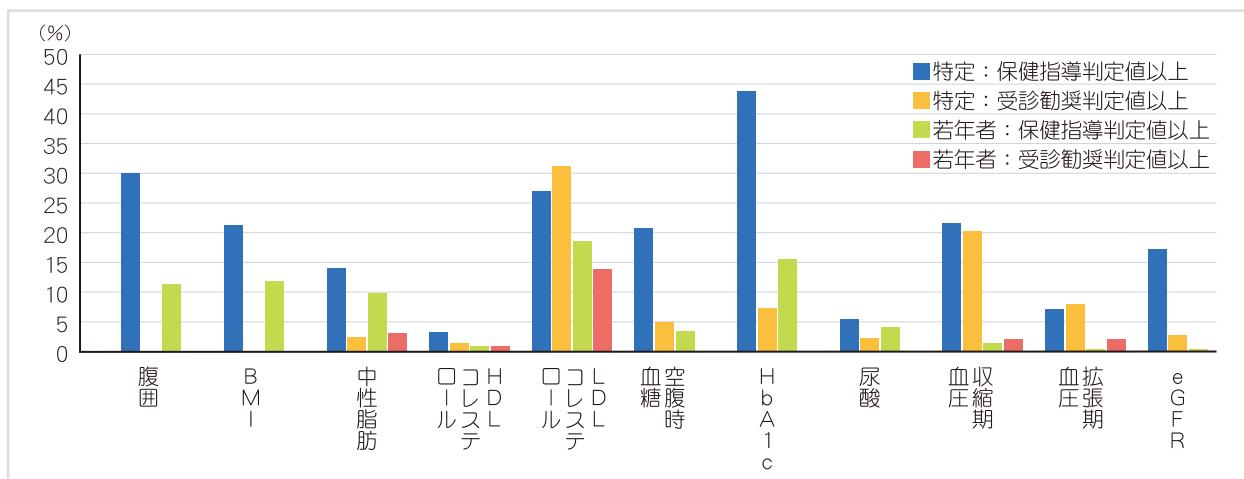
平成28年度 小郡市の健診状況(平成29年3月31日時点)

平成28年度特定健診対象者数：9,078人
受診者数：3,087人 } 受診率：**34.0%** 国が定める目標受診率は60%
若年者健診者数：194人

下のグラフは、市の平成28年度特定健診・若年者健診受診者のうち、各検査項目で保健指導判定値以上、受診勧奨判定値以上の人の割合を示したものです。

※保健指導判定値：保健指導が必要な値、受診勧奨判定値：医療機関での受診を勧める値

※それぞれの基準値は、健診結果に記載していますので、健診結果をご覧ください



HDLコレステロール・LDLコレステロール…血液中に含まれている脂質。HDLは動脈硬化を抑える善玉コレステロール、LDLは動脈硬化を促進させる悪玉コレステロール

HbA1c…1～2か月間の血糖の平均的な状態をあらわす値

eGFR…推算糸球体ろ過量。腎臓からの老廃物の排泄機能を見る目安

グラフから、LDLコレステロールの項目で、特定健診では保健指導判定値・受診勧奨判定値を合わせると50%以上の人が、若年者健診でも約30%の人が基準値を超えていることが分かります。また、HbA1cの項目でも特定健診では合わせて約50%の人が基準値を超えています。

これらの値が基準値を超えていても、自覚症状はほとんどありません。そのため、自分の健康状態の良し悪しは、健診を受けないと知ることができません。また、健診を受けていない66%の人の中にも、受診した人と同様の割合で基準値を超えている人がいると考えられます。

生活習慣病は自覚症状が現れにくい病気です。健診を受けていない、または受けたとしても自覚症状がないからと放っておくと、ある日突然、脳血管疾患や心疾患で倒れたり、腎臓の機能が悪くなって人工透析が必要になったりすることもあります。そのようなことにならないために、毎年必ず健診を受診し生活習慣を見直しましょう。

健康診査の案内を4月末に世帯ごとに送付しています。健診日程などは、4・5ページをご覧ください。

あすてらす健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。お気軽にお越しください。☎72-6467
毎週月～金曜日 午前9時～11時/午後1時～4時(あすてらす休館日を除きます)

●問合せ先 健康課健康推進係 ☎72-6666